

平成22年度

田舎で働き隊！事業実績（概要）

平成 2 3 年 8 月

農林水産省

農村振興局 都市農村交流課

「**田舎で働き隊！**」事業(農村活性化人材育成派遣支援モデル事業)は、農村地域の活性化を担う人材の確保・育成を安定的に支える仕組みの構築に向け、都市と農村地域をつなぎ、**農村地域における都市部の人材の活用等に取り組むコーディネート機関(事業実施主体)に対し支援**を行う事業です。

事業実施規模

	コーディネート機関	研修人数	受入地区
事業実施	33	416	43都道府県 170市町村

(H22予算：15機関、H22予備：18機関で実施。5機関が重複採択)

事業実施主体:33団体

NPO法人	14	営利法人	13
学校法人	1	任意団体	2
社団法人	1	公益法人	2

・実施主体地区別内訳

各地区及び各種団体別の事業実施主体は下記のとおりであった。

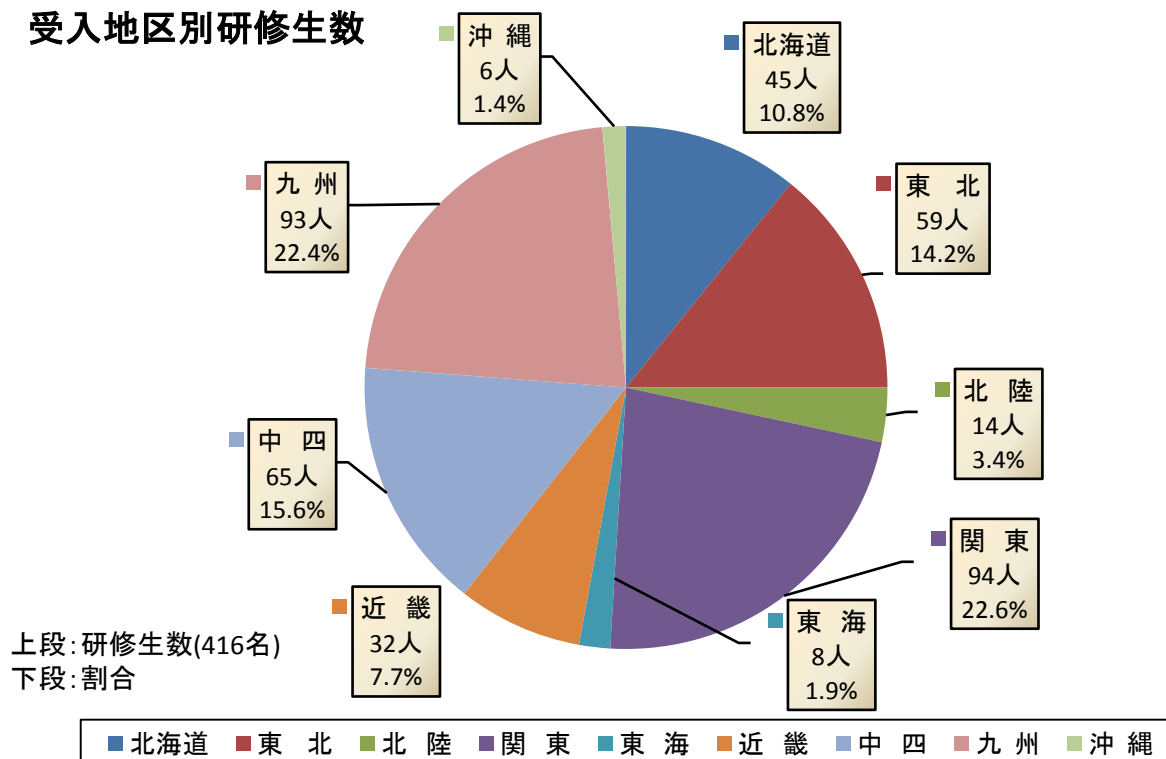
地区／団体	NPO法人	営利法人	学校法人	任意団体	社団法人	公益法人	計
北海道	2						2
東北	1	4					5
関東	7	6			1	1	15
東海	1						1
北陸						1	1
近畿	1	1	1				3
中四国							0
九州	2	2		2			6
計	14	13	1	2	1	2	33

地区別及び都道府県の実績

33の実施主体が研修生の募集を行い、受入地区（農村地域）での実践研修を行った結果、関東と九州地区の研修生数が多い。（研修生数416名）

また、各地区の受入研修生数は下記のとおりであり、ほぼ全国的に展開されている。

受入地区別研修生数



全国で農村地域が多い北海道や九州で研修生数が多く、千葉県、静岡県など大都市近郊圏においても多い傾向にある。

全研修生416名の受入地区が存する県は下記のとおり。

派遣先	研修生数	派遣先	研修生数	派遣先	研修生数	派遣先	研修生数
北海道	45	東京都	11	滋賀県	9	香川県	20
青森県	2	神奈川県	0	京都府	9	愛媛県	3
岩手県	5(4)	山梨県	4	大阪府	5	高知県	6
宮城県	22	長野県	18	兵庫県	1	福岡県	22
秋田県	1	新潟県	4	奈良県	3	佐賀県	5
山形県	4	富山県	0	和歌山県	5	長崎県	13
福島県	25	石川県	6	鳥取県	4	熊本県	21
茨城県	8	福井県	4	島根県	14(8)	大分県	8
栃木県	9	岐阜県	1	岡山県	0	宮崎県	12
群馬県	9	静岡県	19	広島県	3	鹿児島県	12
埼玉県	0	愛知県	0	山口県	13(1)	沖縄県	6
千葉県	16	三重県	7	徳島県	2	計	416(13)

※ 研修生416名の内、1人で複数地区に参加（ ）で外数 延べ429名

研修人材の属性と傾向

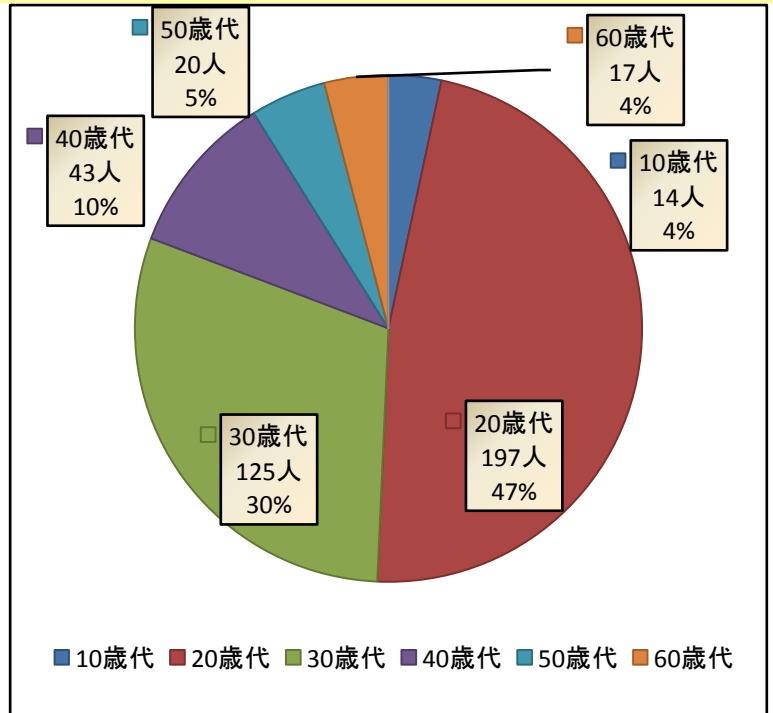
「田舎で働き隊！」事業に参加した研修人材について、各事業実施主体へのアンケート調査を実施。33団体から416人に関する回答が得られた。(回答率100%) (アンケート実施時期：H23.6)

研修人材の年齢別構成を見ると、20歳代が最も多く30歳代以下において全体の8割を占めた。

また、研修生の平均年齢は32.1歳であった。

・年齢構成

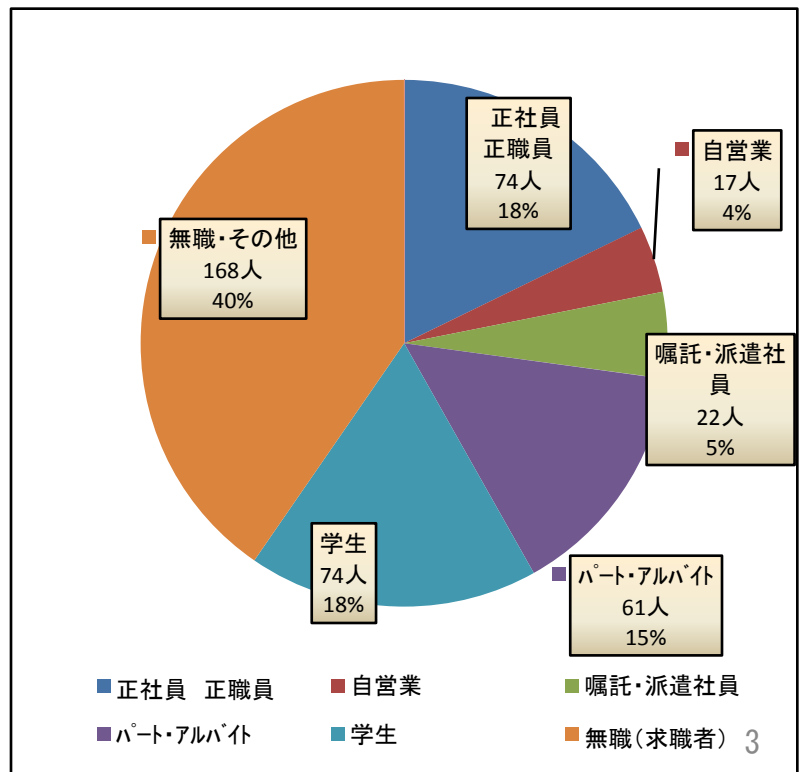
区分	研修生数	割合
10歳代	14	3.4%
20歳代	197	47.4%
30歳代	125	30.0%
40歳代	43	10.3%
50歳代	20	4.8%
60歳代	17	4.1%
70歳代	0	0.0%
計	416	100.0%
男性	246	59.1%
女性	170	40.9%
平均年齢	32.1歳	



研修人材の職業別構成を見ると、無職(求職者)が最も多く、正社員、学生、パート・アルバイトの順番となった。

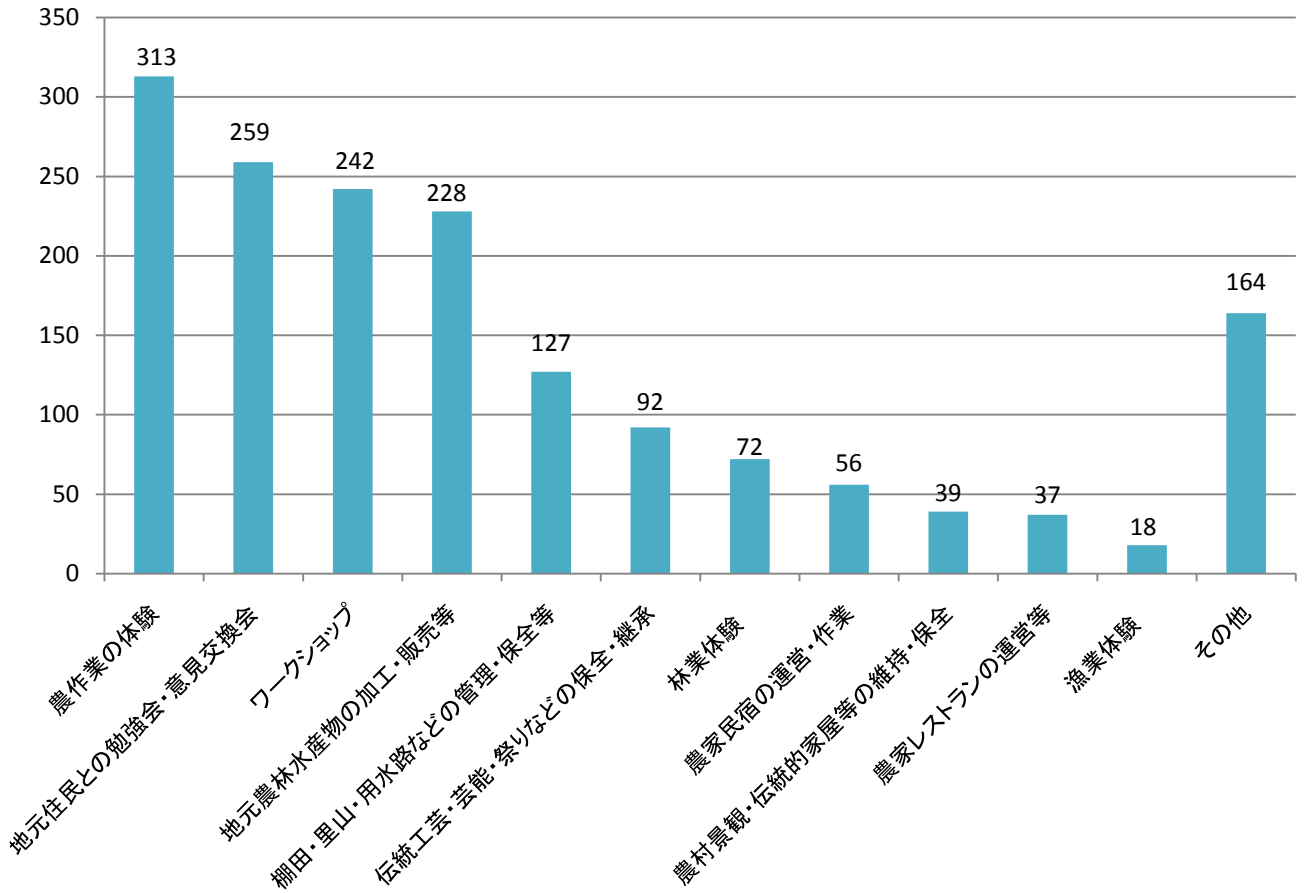
・職業別構成

区分	研修生数
正社員・正職員	74
自営業	17
属託・派遣社員	22
パート・アルバイト	61
学生	74
無職(求職)	153
無職(定年退職)	8
その他	7
計	416



研修の内容

実践研修については、一つの研修において複数のプログラムを行っているが、そのうち農業体験が最も多く、地元住民との勉強会・意見交換会、ワークショップが続いて多い研修となっている。



※研修プログラムは複数回答（全体延べ回答数1,647）

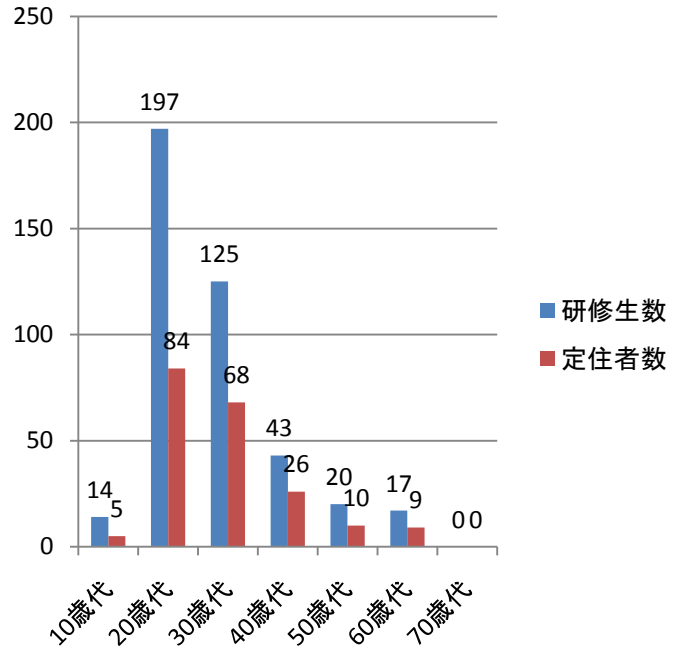
研修後の進路

本事業の終了後、農山漁村への定住を決めた者（定住者）について、各事業実施主体の把握状況を確認したところ、研修生416名のうち202名（48.6%）が受入地区に定住することとなった。

なお、年齢構成別の定住率は40歳代が最も高いが各年代を通してまんべんなく、定住している。

・定住者の年齢区分

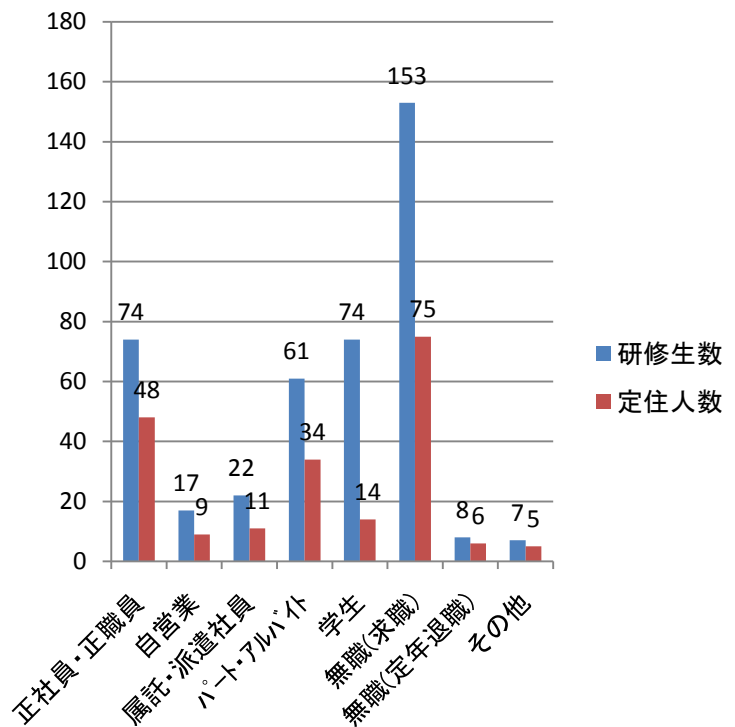
区分	研修生	定住者	年齢区分別定住率
10歳代	14	5	35.7%
20歳代	197	84	42.6%
30歳代	125	68	54.4%
40歳代	43	26	60.5%
50歳代	20	10	50.5%
60歳代	17	9	52.9%
70歳代	0	0	0%
計	416	202	48.6%



更に、定住者（202名）の研修直近の職業構成は、無職（定年退職）、正社員、パート・アルバイトの順で多かった。

・定住者の研修直近の職業分布

区分	研修生数	定住人数	職業別定住率
正社員・正職員	74	48	64.9%
自営業	17	9	52.9%
属託・派遣社員	22	11	50.0%
パート・アルバイト	61	34	55.7%
学生	74	14	18.9%
無職(求職)	153	75	49.0%
無職(定年退職)	8	6	75.0%
その他	7	5	71.4%
計	416	202	48.6%



研修後の定住者の就労については、農業生産法人やNPO法人への就農・就労が最も多くなった。

・研修後の就労構成

区分	研修生数
農林水産業	33
農業生産法人、NPOで 就農、就労	113
企業、公務員に就労	34
無職(求職、起業準備)	22
計	202

